

本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。

本日使用したjamboardやいただいたリフレクションを共有させていただきます。

ぜひ、ご活用ください。

話し合いで活用したjamboard

20230823 R5年度イケトーク

意見・感想・提案

島崎新村や松岡悠希の施設情報について、子どもたちからはどのような意見が出たのでしょうか？なかなか難しい問いだなと思いました。

学校側でのタブレット機器の場合、卒業したらここに残っているシートも消えてしまうと思うが、それで良いのか。

文庫の活用をどうやって防ぐか。振り回りをオンラインで出させる場合、過去の自分のコピーへ、後者のコピーへ

授業中にデバイスでいらんことをしているのを中々防げない...

作者の詩の推敲過程の比較は面白かった

俳句を創作させるまでに、複数の単元で必要な力を伸ばされていて、自身の今後の授業プランに生かしたと思いました。

ワークシートで手に残すものとロイロノートで良いものとの区別が良かったと思いました。

単元の組み方が素晴らしいと思いました。総括的課題へ向かう過程も丁寧に良いと思いました。自分の意見を消しゴムで消さないという指示は自分の授業でも使わせていただきます。

「魅力的」の要素については、いったんそれらの要素が上位・下位の分類として整理されるかもしれないことも含めて学習できるとおもしろいですね。具体と抽象の理解を深めることにつながります。

デジタルと通常ワークシートの使い分けがとても工夫されていると感じました。「ICTでは、質は簡素になりやすい」という点が、使い分けのうえでのポイントになるかも？深堀りしたい。

今回は、授業の思考の整理と交流においてICTを活用しましたが、これがテストとなると、読解・解釈が対象で、創作そしてオンライン、テストのデジタル化は難しいですね

3年の書くの言語活動例に、文学的文章がないですが、やはり創作させたいですね。

創作のワークシートに「消しゴムは使わず、考えた跡はすべて残しておこう」という指示がポイントだなと感じました。(鑑賞→創作の繋がりという意味でも、創作の質を高めるという意味でも)

人の意見にコメントをするときに、「ここってどうだろう」と「こうしたらどうだろう」と2つあるのは難しいと思いました。

素晴らしい授業のご実践だと存じましたが、通常の校務と併行して、授業に係る業務は定時に収まったのでしょうか？

アナログのメリット ここは磨りたい、というところ

オンラインデジタルデバイスで授業は完全に置き換えられるか。例えばリモートの授業やペーパーレスにできるか

授業の振り返りはICTか

個人的には全授業ペーパーレスでもいいのではと考えることもあるが、そのあたりをみなさんがどのように考えているか聞きたいです。

国語文とはどのようなものかについての学習は何年生の段階でどのようにされていたのか。

俳句の表現技法についてはどの段階で学習したのか。芭蕉より、前か後か。

大きく、権限をアナログで、国語をデジタルで行ったのはどういった理由がありましたでしょうか？

クラス全員分のシートを共有した際の扱い方について。(生徒が自分で見て残っているのか、特定の生徒の物を取り上げているのかなど)

特にロイロノートの強みはどのくらいあったか？にありましたか？(今回の授業に関わらず)

思考の整理ツールを使うとどの程度効果があるのか。(使わなかった場合と比較して)

俳句を鑑賞する際の原風景はどのようにしているのか。画時間についてはどれくらい使われているか？

国語文の活動までの時数が予想以上に多かったのか、特にどの段階が予想以上に時間が必要でしたか？

「ここってどうだろう」の投入が公平な生徒が多かったことですが、内容を共有するからなのか、資料的な活用が公平なものが気になりました。最後の授業から、共有することへの抵抗感を生徒は感じましたか。

推奨の視点を養うためにどのような段階があったか。

ICT機器の習熟(タイピングや動画の作成スキル)は国語に含まれるのだろうか

2年での短歌の創作はどのようにされていましたか。

「ここってどうだろう」の投入が公平な生徒が多かったことですが、内容を共有するからなのか、資料的な活用が公平なものが気になりました。最後の授業から、共有することへの抵抗感を生徒は感じましたか。

意見・感想・提案

- ・作者の詩の推敲過程の比較は面白かった
- ・俳句を創作させるまでに、複数の単元で必要な力を伸ばされていて、自身の今後の授業プランに生かしたと思いました。
- ・ワークシートで手に残すものとロイロノートで良いものとの区別が良かったと思いました。
- ・単元の組み方が素晴らしいと思いました。総括的課題へ向かう過程も丁寧に良いと思いました。自分の意見を消しゴムで消さないという指示は自分の授業でも使わせていただきます。
- ・「魅力的」の要素については、いったんそれらの要素が上位・下位の分類として整理されるかもしれないことも含めて学習できるとおもしろいですね。具体と抽象の理解を深めることにつながります。
- ・デジタルと通常ワークシートの使い分けがとても工夫されていると感じました。「ICTでは、質は簡素になりやすい」という点が、使い分けのうえでのポイントになるかも？深堀りしたい。
- ・今回は、授業の思考の整理と交流においてICTを活用しましたが、これがテストとなると、読解・解釈が対象で、創作そしてオンライン、テストのデジタル化は難しいですね
- ・3年の書くの言語活動例に、文学的文章がないですが、やはり創作させたいですね。
- ・創作のワークシートに「消しゴムは使わず、考えた跡はすべて残しておこう」という指示がポイントだなと感じました。(鑑賞→創作の繋がりという意味でも、創作の質を高めるという意味でも)
- ・人の意見にコメントをするときに、「ここってどうだろう」と「こうしたらどうだろう」と2つあるのは難しいと思いました。
- ・素晴らしい授業のご実践だと存じましたが、通常の校務と併行して、授業に係る業務は定時に収まったのでしょうか？

疑問・質問・お悩み

①本日の学び(学びが深まったこと、新たな疑問など)

- ・アナログ、デジタルの使い分けならびに、個々の実践、個々の生徒にまで踏み込んで、個別最適な学びがいかにして創り出せるかというところにまで深まった時間でした。日頃の実践において悩んでいる点でもありましたので、今後とも考えていくきっかけを与えていただいた時間でした。
- ・俳句の知識から創作までを俳句の単元で指導するのではなく、それまでの学習と関連付けて学習させる計画性に関心させられました。学期を通した指導計画を立てられるよう、今後も努力したいと思います。
- ・本校でもロイロノートを導入していますが、ICTに翻弄されていてうまく活用できていませんでした。本日の永井先生の授業実践を伺い、推敲はアナログで、創作や鑑賞はデジタルでといった形でアナログとデジタルの使い分けについてうかがえたのは大きな学びとなりました。また、思考ツールについても俳句の学習でこのように使っていくのかと大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ICTと紙との使い分けの観点や、ICTだからこそ質の深まった／対面のほうが深まった点など、たいへん勉強になりました。どのように先生・生徒にとっての「個別最適化」の折り合いをつけるか、引き続き模索していきたいと感じました。ありがとうございました。
- ・日頃、時間の短縮や評価・記録の利便性にのみ意識がいきがちですが、ICTに特化した視点でご実践を提案いただくことで、視野がとても広がりました。個別最適の保障について、ご意見がうかがえてとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・紙とデジタルの効果的な使い分けについて理解が深まりました。
- ・総括的課題への道筋や、ロイロノートの様々な活用方法など。
- ・急な職場関係の訃報連絡が入り。最後迄受講出来ず失礼しました。